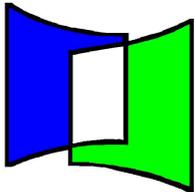


学校情報・入試情報

令和8年度入学者選抜用

学校（学科）情報

学校名	とちぎけんりつもおかほくりょうこうとうがっこう		所在地	〒321-4415 真岡市下籠谷396		学校HP
	栃木県立真岡北陵高等学校		電話	0285-82-3415		
課程	生徒数（R7.5.1現在）	設置学科（コース）	アクセス	J R 宇都宮駅よりバスで約35分 真岡鐵道・真岡駅よりバスで約15分 最寄り停留所【北陵高校前】		
全日制課程	414名 男子184名、女子230名	生物生産科 農業機械科 食品科学科 総合ビジネス科 介護福祉科	URL	https://www.tochigi-edu.ed.jp/mokahokuryo/nc3/		

スクール・ミッション

各産業分野の専門性の向上を図り、地域と連携した実践・研究活動を通して、地域の産業界や社会の持続的な発展を担う職業人を育成する学校

スクール・ポリシー

育成を目指す資質・能力 (グラデュエーション・ポリシー)	教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)	入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー)
<p>本校では、次のような資質・能力を育成します。</p> <p>【生物生産科・農業機械科・食品科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○農業及び農業関連産業に関する専門的な知識や技術を身に付け活用できる力を育成します。 ○課題解決に向け、周りの人と協力し、粘り強く取り組む力を育成します。 ○地域産業の担い手、リーダーとして必要な力を育成します。 <p>【総合ビジネス科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○経済社会を支えるための資質を磨き、ビジネス界に必要な実践力を育成します。 ○商業の学習を通し、物事を客観的にとらえる力や、粘り強く取り組む姿勢を育てます。 ○自ら課題を見つけ、主体的に解決を図ろうとする態度を育てます。 <p>【介護福祉科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○福祉に関する幅広い知識や技術を身に付け、生涯にわたり自主的・主体的に学び続けることができる生徒を育てます。 ○介護実習等を通して、職業人としての責任感や行動力、コミュニケーション能力を身に付け実践できる生徒を育てます。 ○地域との関わりの中で持続可能な共生社会を目指し、「福祉のこころ」をもつとともに他者と協働できる生徒を育てます。 	<p>本校では、次のような教育活動を実施します。</p> <p>【生物生産科・農業機械科・食品科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域に即した総合実習を実施し、専門的な深い学びの場を提供します。 ○体験的な学習を重視し、知識と技術の定着が図れる教育を提供します。 ○職業観や勤労観を育み、専門性を活かした進路に対応する教育を提供します。 <p>【総合ビジネス科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○実社会で活躍するための、高度なビジネススキルを身に付ける学習を行います。 ○進学や就職に役立つ専門性の高い授業や、各種検定取得のための学習を行います。 ○地域産業に目を向け、フィールドワークや商品開発などに取り組みながら、探究活動を行います。 <p>【介護福祉科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○介護福祉士養成のための専門科目や実習を展開し、介護福祉士国家試験受験資格取得を支援します。 ○基礎学力の定着を目指した授業を行うとともに、豊かな人間性を育む授業を実践します。 ○福祉に関する専門家等の地域資源を活かした福祉教育の推進を行います。 	<p>本校は、次のような生徒の入学を期待しています。</p> <p>【生物生産科・農業機械科・食品科学科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○明確な目的をもち、高校生活に取り組む生徒 ○農業科目の実習において、積極的に取り組む生徒 ○専門的な知識や技術の習得、資格取得に根気強く取り組む生徒 ○地域連携や交流学習に積極的に参加する生徒 <p>【総合ビジネス科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○商業に関する専門的な知識や技術を身に付けたいという意志がある生徒 ○各種検定試験に向けて、学習に根気強く取り組むことができる生徒 ○他者を気遣い、節度をもってコミュニケーションを取ることができる生徒 <p>【介護福祉科】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国家資格「介護福祉士」の資格を取得する強い意志を有する生徒 ○向学心をもち、学習活動に真面目に取り組むとともに、部活動や学校行事、地域活動等に積極的に取り組むことができる生徒 ○福祉に関する明確な進路希望をもち、その実現に向けて粘り強く努力する生徒

特色選抜情報

定員の割合	出願するための資格要件	選抜の手順等
【生物生産科】30%程度 【農業機械科】30%程度 【食品科学科】30%程度 【総合ビジネス科】30%程度 【介護福祉科】30%程度	中学校で身に付けるべき基本的な生活習慣と、本校での教育を受けるに足る基礎学力を有し、当該学科について十分理解（介護福祉科は、介護実習等に積極的に取り組み、介護福祉士の資格取得を目指す意志が強い者）し、志望する具体的な理由を有している者で次の(1)から(3)までのいずれか、または複数に該当する者 (1) 各学科の学習内容に興味関心をもつとともに、将来、当該学科に関連する職業に就く強い意志をもっている者 (2) 各学科に關係する大学・専門学校等への進学を目指している者 (3) 中学校在学時に、校内外での部活動、特別活動、奉仕・社会福祉活動、理科や芸術の展覧会、文化伝承活動等で優れた実績があり、本校入学後もそれらの活動に取り組む強い意志をもっている者	【資料の取扱い】 1 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。 2 調査書については、次のとおり取り扱う。 ① 「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点） ② 「特別活動の記録」及び「行動の記録」は段階評価を行い、特に「行動の記録」を重視する。 ③ 「文化活動・スポーツ活動・社会活動・特技等の記録」は、資格要件に該当する実績及び活動状況について段階評価を行う。 3 面接及び作文は段階評価を行う。 【選抜の手順】 次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。 第1次審議 【資料の取扱い】の2①で点数化した部分の合計点数の順位が、特色選抜の募集定員の70%以内にある者（ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の70%以内にある者）で、【資料の取扱い】の2②及び3が良好である者を原則として、合格内定とする。 第2次審議 第1次審議で合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。
選抜の方法		
○面接 個人面接 時間10分程度 ○作文 時間30分 字数400字程度		
その他・特記事項		
ユネスコスクール加盟校 令和7年度重点強化拠点校（競技：ライフル射撃（男子・女子））		

一般選抜情報

選抜の方法	学力検査・集団面接・調査書				
学力検査と調査書の評定の比重	学力検査		調査書		
	6		4		
学力検査	国語	社会	数学	理科	外国語 (英語)
学力検査配点	100	100	100	100	100
傾斜配点					